

令和4年11月

第241号

議会 とよとみ

豊富町議会広報誌

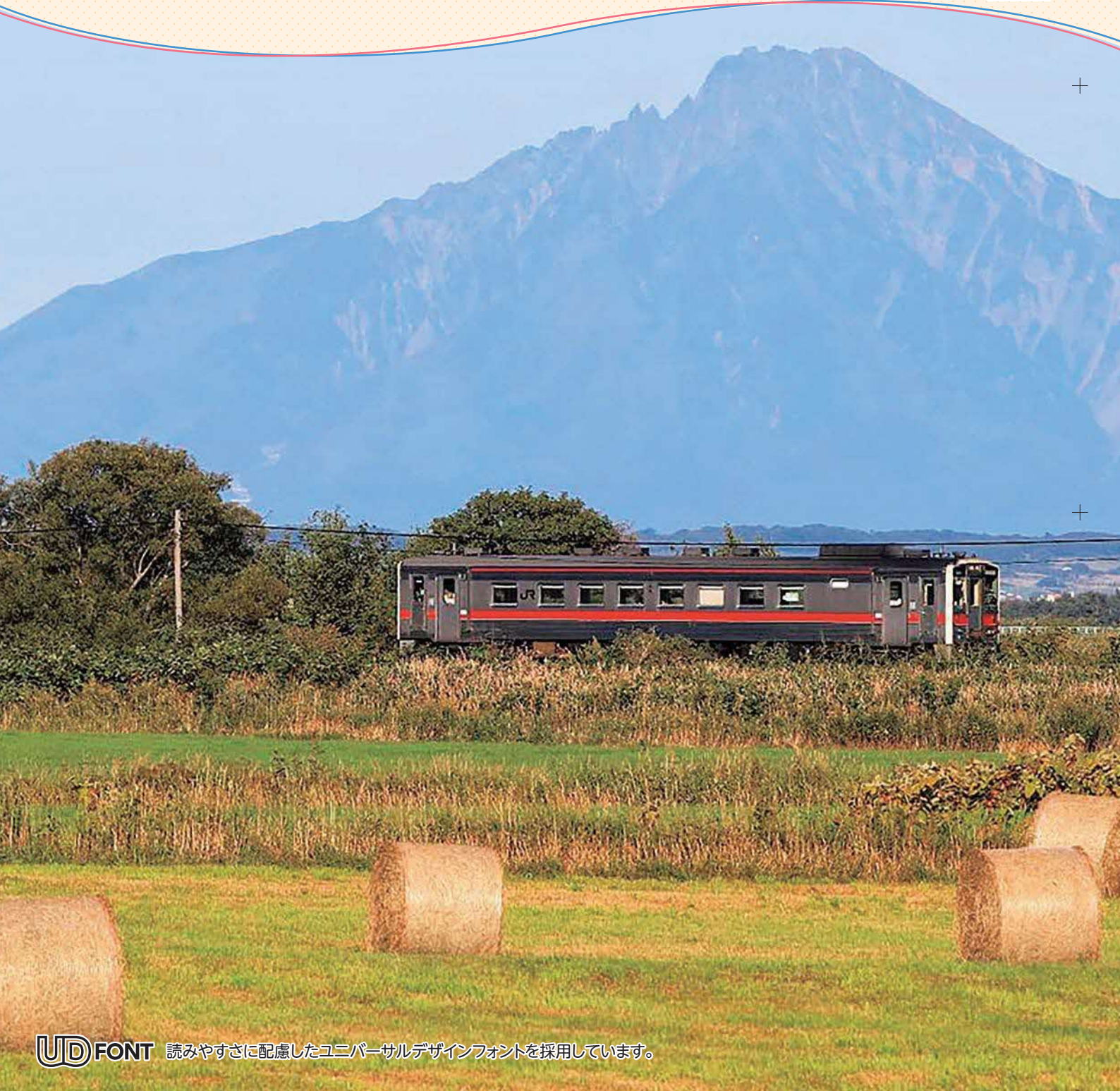
9月定例会

[9月6日～8日]

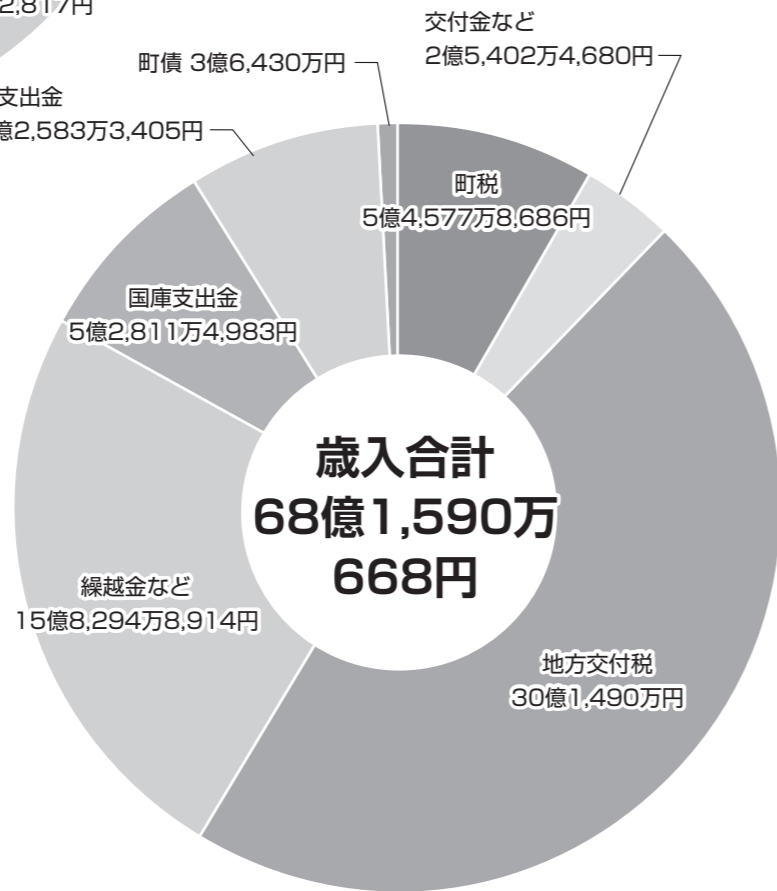
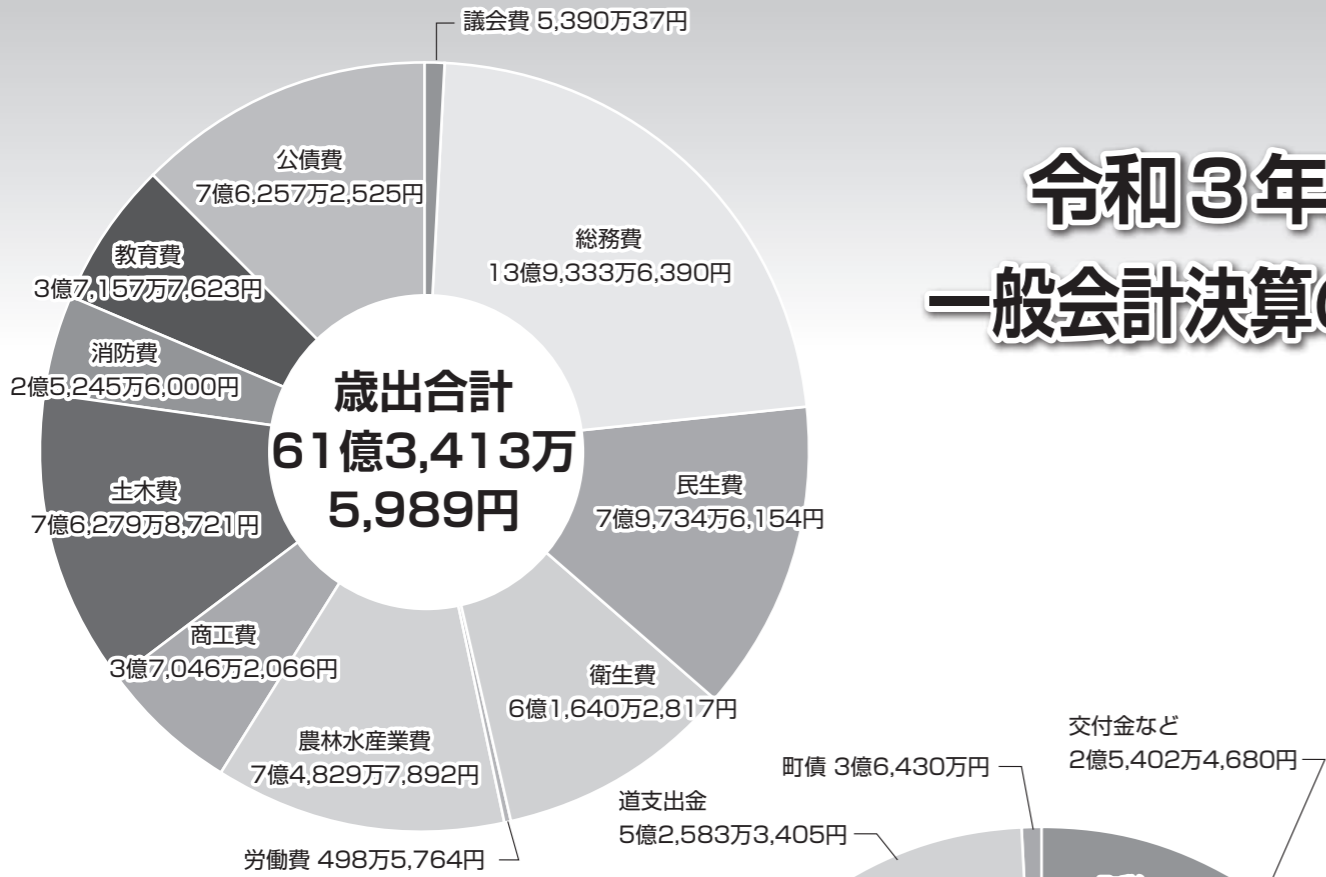
豊富町議会からのお知らせ

令和3年度決算特集	2
議会が町のコトチェック	6
一般質問	8
議会レポート	10
気になるアノ人に聞いてみました	15
高校生の声・中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



令和3年度 一般会計決算の内訳



令和3年度の一般会計決算額は、歳入が68億1,590万668円、歳出が61億3,413万5,989円、歳入歳出差引額が6億8,176万4,679円（前年度比8,165万5,231円増）の黒字決算となりました。

用語解説

【歳入】
総務費▼役場の維持管理、地域振興などに関するお金
民生費▼保育園、児童手当、高齢者、障がい者福祉などに関するお金
衛生費▼ワクチン接種、ごみ処理などに関するお金
土木費▼道路整備や除雪などに関するお金
公債費▼町債の返済に関するお金

【歳出】
町税▼住民税や固定資産税などの税金
地方交付税▼自治体の規模や人口などに応じて国から交付されるお金
国庫・道支出金▼事業に対して国や北海道から補助されるお金
町債▼事業を行うために借りたお金

令和3年度 決算 一般会計 61 億円を支出

こちらをご覧ください！

第3回定例会議事日程

1日目



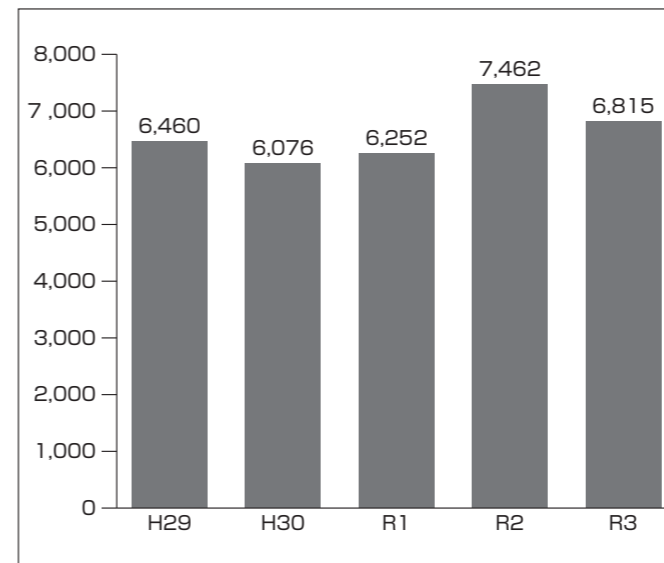
2日目



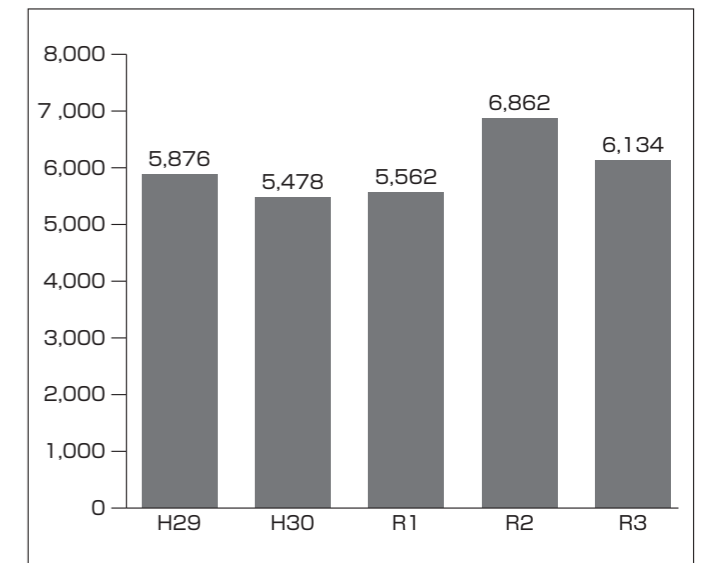
令和4年第3回定例会では、補正予算などの議案のほか、一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算の認定が提案され、予算決算常任委員会に付託し、令和3年度決算を審議しました。審査は各会計ごとに行われ、適正に支出されているのかどうか、計画通りに事業が実施され、成果が挙げられているかなどについて質疑が行われました。ここでは、決算の状況についてご紹介いたします。

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差引き額
一般会計	68億1,590万668円	61億3,413万5,989円	6億8,176万4,679円
国保事業会計	6億4,655万6,620円	6億326万106円	4,329万6,514円
後期高齢者特別会計	6,208万1,395円	5,988万1,493円	219万9,902円
国保診療所会計	6億8,811万3,095円	5億9,513万7,754円	9,297万5,341円
簡易水道事業会計	2億5,232万1,379円	2億2,100万6,278円	3,131万5,101円
下水道事業会計	3億4,011万5,130円	3億1,810万6,934円	2,200万8,196円
介護保険会計	5億739万7,560円	4億9,368万5,718円	1,371万1,842円
介護サービス会計	598万3,212円	152万1,031円	446万2,181円
ガス事業会計	4,752万6,311円	4,561万5,840円	191万471円
合計	93億6,599万5,370円	84億7,235万1,143円	8億9,364万4,227円

▼一般会計歳入の推移(単位:百万円)



▼一般会計歳出の推移(単位:百万円)



予算決算常任委員長
の審査報告

議会との対応を密にし、
さらなる住民福祉の向上を期待する

一般会計をはじめ、各特別会計及びガス事業会計決算につきまして、全て認定すべきものと決定しました。

ロシアによるウクライナの軍事侵略や、未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症の影響により、物価の高騰や雇用、所得環境の悪化など、地方自治体に対する経済環境はますます厳しい状況下にあるため、行政運営については、時代に合った迅速な対応を強く希望するものです。

また、今後も税や使用料負担の公平性を保ち、適正な財源の確保に努められ、行財政の効率的な執行により健全財政が保持されますとともに、議会との対応を密にし、さらなる住民福祉の向上、町民の付託に応えるため、より一層の努力を期待します。



予算決算常任委員長 小笠原照美

監査委員
からの意見

限られた財源を重点的に配分し、
町民ニーズへの的確な対応を求める



代表監査委員 白田浩一（左）
監査委員 前田孝一（右）

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や長引く新型コロナウイルス禍の影響により、北海道経済の落ち込みは未だ厳しい状況ではありますが、そうした中において、地域の経済回復や町民の暮らしを守る課題への対応など、町民の付託に適切に応えることが求められています。

今後は、事務事業の継続的な見直しや、施策の選択・再構築を行い、限られた財源を重点的に配分するなど、新たな町民ニーズに対し柔軟でかつ的確に対応できるよう一層の努力が必要です。

出口の見えない不況に伴う税収等の伸び悩みは、地方交付税のあり方が不透明であることから、自治体が置かれている現状は、引き続き極めて厳しい状況であることを再認識し、町民が安心して暮らせる町づくり、更なる住民福祉の向上に向けた積極的な対応を望みます。

豊 富町乳児紙おむつ等購入助成事業 32万円

子育てのしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の経済的負担軽減を図ることを目的として、乳児（0歳～1歳未満）が使用する紙おむつ等の購入費の一部を助成しました。



公 設学習塾開設事業 419万円

民間の学習塾がなく、学校以外での学びの場が乏しいため、有資格者（教員免許所有者）を講師とした教室を開設するなど、児童生徒の基礎学力定着のための学びの場を提供しました。



高 齢者生活支援交通費助成事業 372万円

高齢者の生活に必要な移動によって生じる交通費の一部（バス・ハイヤー・JR）を助成することにより日常生活を容易にしたり、健康増進のための外出等を通じ、より活発に社会参加することを推進しました。



有 害鳥獣被害防止対策推進事業 283万円

豊富町鳥獣被害防止対策協議会への活動助成を行ったほか、エゾシカ肉の在庫過多を解消するため、協議会を通じて豚肉とエゾシカ肉との価格差に対して補助を行い、エゾシカ肉の消費拡大を図るとともに農業被害防止のためエゾシカの処理対策を行いました。





町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。「豊富町はどうなっている？ 私たちの税金はどんな」に使用されていくの？」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。

実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

民生費

Q 今後の子育て支援の施策について

当町では子育て支援策として、紙おむつ等の購入費用の一部助成を行っているが、その他の施策については今後どのようなことを考えているのか。

A 町民からの具体的な要望を調査し、子育て支援を充実させていきたい

町民がどのようなことを要望しているのか具体的に調査し、豊富町に住んでよかったと思えるような子育て支援を進めていきたい。

商工費

Q ふれあいセンターの外部委託について検討するべき

ふれあいセンターでの従業員を頻繁に募集しているが、安定した運営を行うために、指定管理等で外部に委託して運営すべきでは。

A 労働者不足改善に向けて検討する

ふれあいセンターに限らず労働者不足は深刻な問題であり、指定管理をしても従業員を雇用できず運営することが厳しい可能性もあるため、まずは、町全体の問題として商工業の労働者不足について、商工会などと協議をしながら改善できるように検討する。

教育費

Q スクールバスの業務内容を見直すべき

スクールバスの業務を委託しているが、運転手が高齢になり、タイヤ交換やバスの洗車など、運転以外の業務が体力的に負担となっているため、業務内容を見直す必要があるが、今後はどのように対応していくのか。

A 業務内容の改善を検討する

スクールバスの業務委託を始めた当時は、町営で行っていた業務内容をそのまま引き継いだため、タイヤ交換等も込みとなっており、現在も同じ内容で契約を結んでいる。今後は、委託先と協議しながら、

墓地使用料

Q 共同墓地の建設は行わないのか

以前より、共同墓地の建設について議会や町民から要望されているが、いつ建設されるのか、もしくは、今後は取り組む予定はないのか。

A 町民にアンケートを取り検討する

共同墓地の建設については、町民へアンケートを取って意向を聞き、お寺へ提示した上で共同墓地が建設できるのか検討する。



介護予防事業業務委託

Q 協議体の今後の動きは

町民のニーズを捉えるために「協議体」という町が事務局を担い、必要に応じて関係機関が集まり会議を行う組織があるが、一度しか開催できていないため各関係機関との意思疎通ができていない。今後、活動する予定はあるのか。

A 会議の方向性を協議して開催に向けて進める

協議体での会議内容が当初想定していたものより逸れてしまっており、目的を達せない場合もあることから、生活支援コーディネーターと会議の方向性について具体的に協議をし、今後開催できるように進める。

役場庁舎建設

Q 役場の庁舎はいっ建て直すのか

役場が建設されてから年数も経っており老朽化が進んでいるが、役場庁舎の建て直しはいつ行うのか。

公務員の副業

Q 公務員の副業について考えるのか

町内の商工業や酪農業などで人手不足が課題となっているが、他町村のように町職員の副業については考えているのか。

A 職員の副業に対する考え方を含めて検討する

条例や規則で定めて許可をしても、副業をするかは職員個人の判断となるため、職員の地域に対する考え方やまちづくりに対する考え方を聞き、副業を認めるかは今後検討していく。

議会とよとみ表紙写真募集中!

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集しております。ご応募いただいた中から選考し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております!

応募資格 豊富町の写真を撮影した方

募集内容 風景・人物問わず豊富町で撮影したもの。豊富町を元気にする写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人や子供の写真、心癒される風景写真などお待ちしております! サイズはできるだけ大きく、ファイルはJPG形式でお願いします。

募集期間 随時募集

応募方法 下記アドレスに、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先(住所、氏名、電話番号)を記入の上、写真を送付してください。
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp



佐々木 誠 議員

農業の経営支援策の検討について問う！

町長 具体的な支援策について協議検討を行い、新規就農者の確保に努める

議員 本町の基幹産業である酪農業は、現在128戸で、前年より5戸の減少となっています。

この要因としては経営者の高齢化、経営悪化による継続断念等が挙げられますが、この傾向は毎年継続しており、このままでは農業就労人口が減少し、基幹産業の衰退を招いてしまいます。

さらに、今年度は異常な円安、ウクライナ紛争、原油高などにより、配合飼料、肥料の価格高騰、石油製品の値上げ、電気料金の値上げにより、農業収支は悪化しています。乳代は若干の値上げがありますが、それも11月からの実施であり、乳牛個体価格は下落し、今年度の収支を償うことは大変厳しい状況となっています。

そこで、本町として、こうした農家の皆さんの窮状を少しでも手助けし、将来の農業経営の希望が持てるような経営支援対策を、JAとともに検討いただくよう、町長のお考えを伺います。

答 現在の農業経営の状況は、自給飼料生産に必要な肥料や、生乳生産に必要な配合飼料等が高騰し、生産コストが上昇している状況となっています。

収入の面では、飲用向けの生乳買取価格が11月から10円値上げすることが発表されましたが、北海道で大半を占

める加工原料向けについては、引き続き協議が行われており、先行きが不透明な状況です。

乳牛の個体価格においても、前年から平均価格で26万円程度下落しており、非常に厳しい状況であると認識しています。

このような状況の中で、国においては、肥料高騰分に対して7割補助及び配合飼料の価格安定基金での補填などを行っているところです。

町としては、引き続きJAはじめ、関係団体とも連携し、国に対し支援策の要望を行うと共に、具体的な支援策について協議検討を行います。

また、農家数確保のため、農業担い手育成センターを中心として、新規就農者の確保に努めます。

一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかを確認するものです。

今回は、2名の議員より一般質問が提出されたのでご紹介します。



思っており、今、豊富町観光協会とタッグを組み、ワーケーションやテレワークなどで豊富町に来てもらえないか、腰を据えてやっていこうと協議しているところですので、町民の皆様には見守っていただきたいと思います。



鎌倉 和雄 議員

インフルエンザワクチンの接種料金免除及び豊富温泉入浴券無償配布について問う！

町長 接種料金免除及び入浴券配布については、町民の健康や温泉の利用促進のため検討する

議員 本町でもインフルエンザワクチンの予防接種が有料で行われていたところ、利用者は町民の半分に満たないところで、予防接種の啓蒙でも十分とは言えない状況であり、要因としての一つに、個人負担があるのではないかと考えられますので、インフルエンザワクチン接種料金の無料化を図れないか伺います。

また、豊富温泉の入浴料金無償化は、アトピー性皮膚炎・乾癬者となっておりますが、町民は有料という矛盾が生じているため、全町民に豊富温泉入浴券の無償配布が実施できないか伺います。

答 近年、インフルエンザワクチンの入荷量も安定して見込めない状況もあるため、ワクチンの確保や他の任意ワクチン接種の個人負担との均衡なども踏まえ、町民の健康を守る観点から接種料金免除について検討します。

また、全町民に対しての温泉入浴券の無償配布については、温泉地区区内で入浴業を営まれている民間施設へ与える影響や、ふれあいセンター全体の収支状況なども踏まえ、利用促進に向けた方法の一つとして検討します。

議員 検討という言葉だけでは町民の要望に依拠していないため、具体

的な期間を定めてどのように進めていくのか、町長の考えを伺います。

答 インフルエンザワクチンについては、全町民が受けられるほどのワクチンが国から提供されないため、この辺りをどう考えるか少し時間をかけて検討します。

豊富温泉入浴券の配布については、温泉街の方々と町民の方の入浴料金に差があるため、まずはこの辺りを練っていくことが優先だと思っています。

議員 これからインフルエンザが流行する時期になってくるため、それまでにワクチンができるだけ確保したり、温泉についてだと、湯治の方だけに限らず一般町民が同じように豊富温泉を利用できるようにするなど、町民に考えを提示するのも首長の役目です。豊富町は他の町とは違うという部分を発信して、定住につなげることも大切だと思いますので、再度町長の答弁を伺います。

答 日本に一つの奇跡の湯を持っていく町として、これをどう発信していくのかは、町民の皆さんとしっかり考えて進めていきたいです。

豊富町に合った政策というものを、しっかり検討して進めていきたいと



奨学金の使い方が分からない

豊富町では、様々な奨学金制度があるが、どのような奨学金があり、自分たちがどうしたら奨学金を利用できるのか分からない。

◆議員からのひとこと◆

将来、豊富町で働くことを条件に、豊富高校卒業生、保育士、看護師、保健師への修学資金貸付金などがあります。



ホッキ祭はなぜなくなったの？

毎年夏に開催されていた「豊富町ホッキまつり」は、なぜ 2018 年を最後に開催されなくなったのか。

◆議員からのひとこと◆

高齢化や担い手不足により漁業者の人数が減ってしまい、今後もホッキ祭を継続していくことが難しいため、2018 年の開催が最後となりました。



他にも様々な観点から豊富町に対する疑問や意見を共有していただきました。

これらを基に高校生が一般質問通告書を作成していきますが、実際にどのような一般質問が提案されたのかは、次回の議会とよみ 242 号で本番の高校生議会の様子をご紹介しますので、楽しみに！



高齢者への支援は？

子育てや教育への支援等は充実しているが、豊富町では高齢者に対してはどのような支援を行っているのか。

◆議員からのひとこと◆

在宅老人デイサービスセンターの開設、ハイヤー・バスなどの料金の一部を助成する高齢者生活支援交通費助成事業などがあります。



SNSや広報を町外向けにした方が良い

広報や SNS で発信している情報は、町民向けの内容が多いため、全国の人に豊富町へ興味を持ってもらえるような内容にした方が良くと思う。

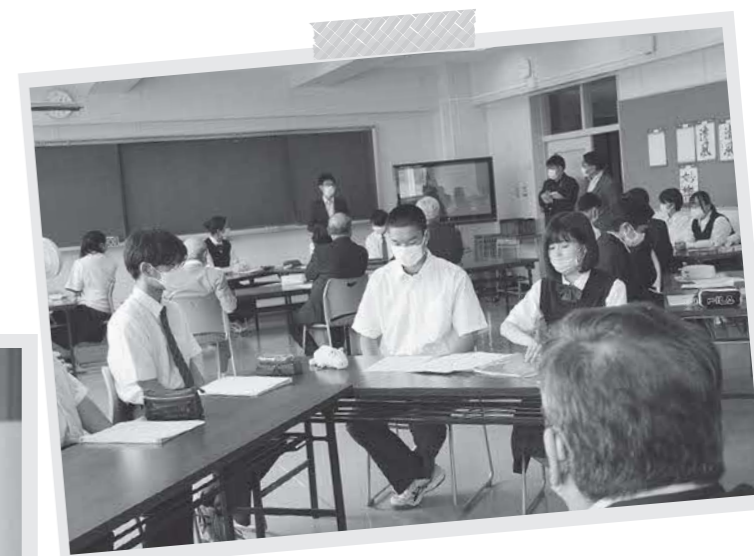
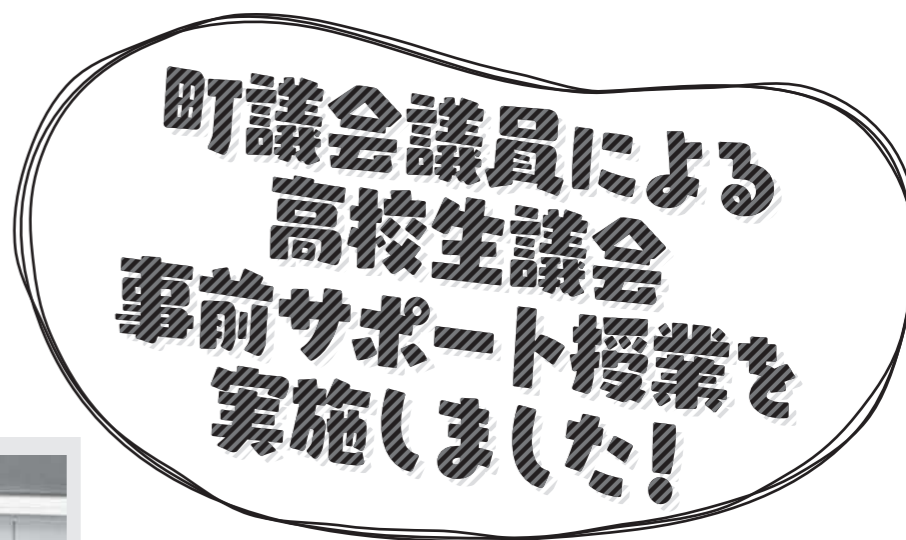
◆議員からのひとこと◆

議会とよみは、まずは町民の方に議会への関心を持っていただきたいという想いがありますが、町外への発信にも力を入れていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

議会レポート

[参加議員 計 7 名]

- ・千葉久・佐々木政義・水戸部正博
- ・竹中隆浩・小笠原照美・佐々木誠
- ・鎌倉和雄



7月20日に豊富高校で行われた「町議会議員による高校生議会事前サポート授業」に7名の議員が参加してまいりました。

この授業では、9月に開催予定の「高校生議会」を円滑に進めるため、豊富高校3年生20名と議員が事前交流し、一般質問のやり方や質問通告書の書き方について議員からアドバイスをを行うほか、一般質問を考える上での参考となるよう、生徒の町政に対する疑問や意見に対して、議員から情報提供を行いました。

高校生から聞かせていただいた主な疑問や意見を一部ご紹介いたします。

議会レポート

[参加議員 計5名]
・千葉久・佐々木政義・水戸部正博
・小笠原照美・竹中隆浩

NPO法人くらすた豊富と懇談会を行いました!



8月30日にNPO法人くらすた豊富より6名の方にご出席いただき、懇談会を行いました。
NPO法人くらすた豊富では、町民と公的機関のつながりを作るために、様々な会合へスタッフが参加して意見を聴取し、関係機関へ情報提供を行うほか、子供から大人まで利用できる「おひさまサロン」を開催し、町民の生活支援や介護予防などの手助けを行うなど、地域の中でお互いを支え合える仕組みを構築するために、様々な工夫がなされていることをお聞きしました。
また、一方で、町から指定管理を受けた「定住支援センター」では、多くの町民が利用できるようホールや会議室のほかに、屋内遊具などの交流スペースが設けられていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用を中止している場所があり、町民が満足に利用できていない状況となっているなど、コロナ禍での施設の運営について課題もあるとお聞きしました。
町民がより「層着らしやしやすい町になるよう、他にもいただいた様々なご意見を持ち帰り、今後の議会活動に努めてまいります。



感想 水戸部正博 議員

くらすた豊富で行っている「おひさまサロン」では、多くの方が参加しているようで大変喜ばしいことだと思います。
近年では、町内会や老人クラブなどの様々な活動から遠ざかっている人もいると思いますが、第二線を退いた方々にとって、社会とのつながり、生き甲斐、楽しみなどを維持していける活動がこれからも必要であると思います。
また、生活支援体制整備事業を進めるために「協議体」という組織があると聞いておりますが、高齢者のニーズに 대응するために、関係機関と連携を取りながら柔軟な発想で対処していただき、より多くの支援が町民に届けられるよう頑張っていたきたいと思います。

感想 小笠原照美 議員

生活支援事業と定住支援センターの指定管理者としての業務を主としながらも、課題も多いと感じました。
特に次の項目は早急に検討すべき問題と考えます。
1. 生活支援事業・高齢者の介護・生活環境の整備等の「協議体」はあるが稼働していない。総括する拠点を決めて、課題を共有化していくことが急務である。
2. 定住を希望して働いている職員の所得確保、移住してきても住宅等が住み良い環境にないなど課題も多い。これらのことも早急な改善が必要と感じる。
以上、2点について、町の早急な検討及び対応を求めます。



町民インタビュー 議員が気になった人をピックアップして対談をしていきます!

気になるアノ人に聞いてみました!

4月から豊富中学校の
校長先生として学校経営と
教育活動に励む

高橋 一哉 さん (55歳)

令和4年4月より、10年ぶりに豊富中学校へ赴任された、高橋校長先生にお話を聞きました。

(9月22日)

聞き手/千葉久・佐々木政義・竹中隆浩



—豊富町に来たきっかけを教えてください。

初めて豊富町に来たのは12年前で、人事異動のため豊富中学校に3年間勤務することになったのがきっかけでした。

今年の4月から校長として豊富中学校へ勤務することが決まり、10年振りに豊富町へ戻ってくることで嬉しかったです。

—現在のお仕事内容を教えてください。

豊富中学校の校長として、学校全体の教育活動をどう進めていくのか日々考えることが私の役目。なにより、先生方が思い切り毎日の教育に励めるように応援することが重要であると思っています。

また、校長になって感じたことは、中学校のことだけでなく、豊富町全体の教育について考えていかなければならないことの大切さです。小学校や高校の校長先生と連携しながら、豊富町の教育を進めていきたいです。

—豊富町の魅力を教えてください。

豊富町の原野から吹きわたる心地の良い風や穏や

かな天気が好きです。

また、定住支援センターなどの交流施設で気軽に参加できるイベントがあり、町民が余暇を過ごすための時間が取りやすく、住みやすい町だと思います。

—豊富町に必要なもの、不便なことはありますか?

教員住宅がかなり古いので、若い先生や子育てをしているような先生に向けた住環境を整備すると、豊富町に勤めたいと思う先生も多くなるのではないのでしょうか。

また、コロナ禍になってから開催できていなかった、町民の皆さんがふれあえる地域のイベントをまたやってほしいです。私は豊富町のお祭りが好きなので、あの雰囲気をもた味わいたいですし、子どもたちにも味わってもらいたいと思います。

—高橋校長先生、ありがとうございました!

議会レポート

[参加議員 計9名]

- ・千葉久・大島憲昭・鎌倉和雄
- ・多々良勝・小笠原照美
- ・佐々木政義・前田孝一
- ・水戸部正博・竹中隆浩

北海道町村議会議員 研修会に出席しました!



7月6日に札幌コンベンションセンターで行われた、北海道町村議会議員研修会に、9名の議員が出席しました。

本研修会は、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となり、政治ジャーナリストの泉 宏氏を講師に迎え、「参議院選最終情勢分析と選挙後の選挙区展望」と題して講演を行いました。

講演の中では、各政党の情勢について分析をしたり、選挙における投票率向上の重要性について解説を行ったほか、政治ジャーナリストだからこそ知る一般的には知られていない政治の話など、非常に興味深い内容であり、議会一同勉強になりました。

これからも多くの議員研修会等に参加し、本町の議会改革に向けて努めてまいります。



＼ 高校生の声 ＼

豊富高校2年生

西村 瑞七さん



豊富町の自然



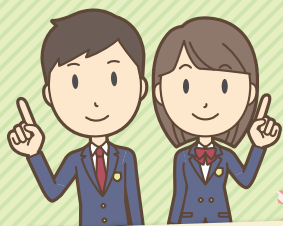
私は豊富町の自然豊かなところが大好きです。もちろん都会のように欲しい物がすぐに手に入らないというような不便さはありません。しかし、授業中にふと窓の外を見ると、春には青々とした緑や蕾を出していた花が一気に咲き、夏になると太陽の光を浴びた花が立派に育ち、林の奥の方からシカやキツネが姿を現します。秋になると夏の暑さは残りつつも涼しい風が私たちの体に吹きつけます。冬には雪が積もり、その上を歩いた動物たちの足跡が見えます。豊富町の豊かな春夏秋冬が目に見えます。

このような、都会では体験できない自然の生命力を豊富町に住んでいることで感じることができます。通勤、通学中や散歩中など一歩外に出れば、いたるところで自然を発見できます。

みなさんも改めて豊富町の自然に触れてみてはいかがでしょうか？

＼ 中学生の声 ＼

豊富町の魅力



豊富中学校3年生

泊村 陸さん

僕は、豊富町の豊かな自然が大好きです。サロベツ原野は、すごく自然が豊かで、貴重な動植物の宝庫です。

僕が特に興味を持っているのは、サロベツ原野に生息する珍しい動物たちです。世界最小の哺乳類のトウキョウトガリネズミや、氷河期時代の生き残りと言われるコモチカナヘビ、絶滅の恐れが高まっている希少種のシマアオジなどの動物がいます。

僕は、この動物たちに実際に会ったことはありません。一番会ってみたい動物は、トウキョウトガリネズミです。トウキョウトガリネズミは、一円玉と同じくらい大きさです。とても小さいので、見つけるのは難しいと思いますが、ぜひとも会ってみたいです。

僕や他の人が会う前に、絶滅してしまうのは嫌だなと思います。僕は、豊富町の豊かな自然を守りたいです。



次回定例会は

12月です

(12月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか、どんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌
議会とよとみ 第241号

発行日/令和4年11月9日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-82-1001 FAX 0162-82-2806